取扱説明書

ＷＡＧＯ　ＰＬＣ直結３２点コネクタ端子台
７３４コネクタタイプ『ＰＭ－７３４シリーズ』

製品を安全にご使用頂くために作業説明に従った正しい作業を行って下さい。

１．使用工具

◆７３９－３．５ｍｍピッチ端子台及び７３４コネクタ用ドライバー工具

２１０－７１９　（絶縁タイプ）
２１０－１１９ＳＢ（国産ミニタイプ）

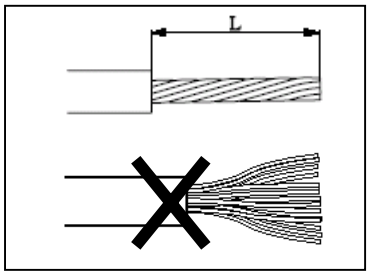
写真は 210-719

◆７３４コネクタ専用操作レバー

７３４－２３０　（操作レバー）

＊作業には必ず適正な寸法，形状の工具をご使用下さい。

２．電線のむき出し



①必ず規定のむき出し長さ（Ｌ）を範囲内にして下さい。

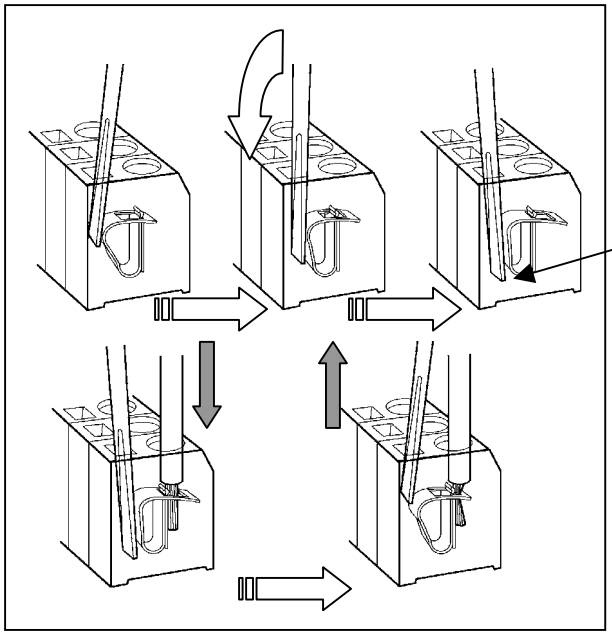
＊ 電線むき出し長（Ｌ）と接続電線サイズ

７３９－３．５㎜ピッチ端子台
電線むき出し長さ　：5～6mm　電線サイズ：0.08～1.5mm²

７３４コネクタ
電線むき出し長さ　：6.5～7.5mm　電線サイズ：0.08～1.5mm²

②素線にバラケ・曲がりがある場合は修正して下さい。

３．結線作業（739/3.5 及び 734 ドライバ操作）



①操作ドライバーを操作穴に差し込み、
スプリングを開きます。
左図のようにドライバーを斜めにあてて
から、一気に突き刺すように差し込むと
スムーズに開きます。
ドライバーはカチッと保持されます！

②電線を接続穴にゆっくりと先端が突き当たる
位置まで挿入して下さい。
**細径の電線では押し込み過ぎによる被覆の
噛み込みに注意して下さい。**

③ドライバーを外すと電線はスプリングで
クランプされます。

④電線を軽く引っ張り確実に結線されているか
確認して下さい。

ご注意！
・本モジュールは「一対一接続回路」のコネクタ端子台製品ではございません。
　接続される機器の回路などをよくご確認の上ご使用ください。

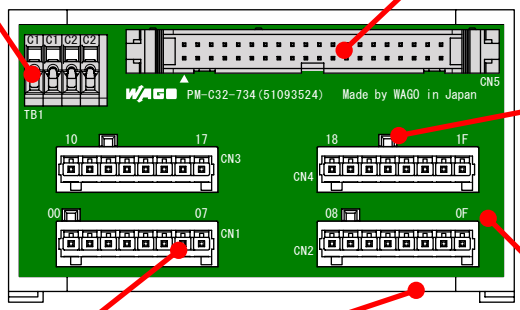
４．ＰＭ－７３４シリーズの概要

４．１．各部説明

ＰＭ－７３４（７３４コネクタプラグ未接続状態）

電源端子台
739／3．5シリーズ端子台を各2個搭載
「C1」「C2」とマーキング

MILコネクタ
MILコネクタでPLCとストレート接続



コーディングキー
4個の734コネクタプラグを、正しいペアで勘合できるようにコーディングキーを取付けていますので、違うペアでは勘合できません

マーカ
マーカーはPLCの信号名イメージ（プラグ）
基板にも両端の信号名を明記

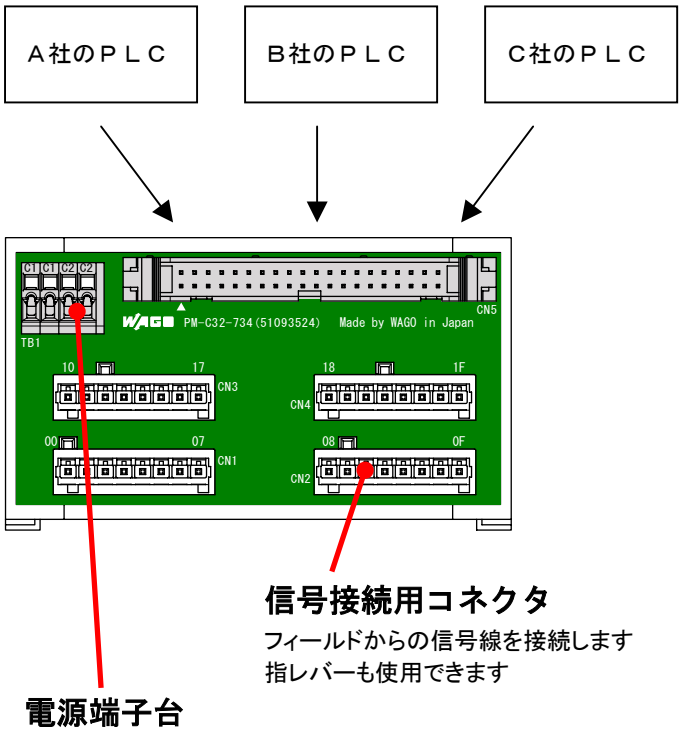
734コネクタヘッダ
734ｺﾈｸﾀﾌﾟﾗｸﾞ（3.5mmﾋﾟｯﾁ）
8Px4個と勘合します

サイズ
縦55mmx横95mm

本体に簡易ストッパ金具が付いていますので、アルミ製３５ｍｍＤＩＮレールにストッパー不要で固定可能です。
レールストッパ分のコストダウンと省スペース化が可能です。

＊ネジフランジタイプには簡易ストッパー金具は付いていません。
＊アルミ製以外のＤＩＮレールの場合、別途ストッパーが必要となる場合があります。

４．２．全機種統一デザイン



ＰＭ－７３４シリーズは同じデザインです。異なる件名でＰＬＣメーカーが変わった時でも適合する機種を選定して、信号接続用コネクタの同じ位置に同じ作業で結線が行えます。

信号は前列左から順に整列しています。

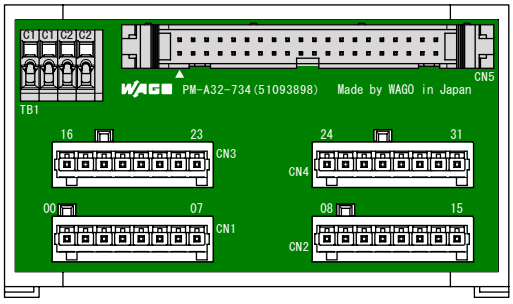
信号接続が端子台ではなく８極ごとのコネクタになっていますので、特に狭い場所や低い場所など施工が容易ではない場所でメリットが出ます。

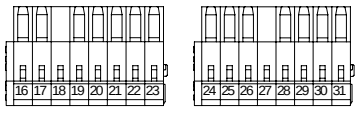
コネクタにはコーディングキーが装着されてありますので、違うペアには勘合できません。

４．３．端子台マーカー

ＰＭ－７３４シリーズにはＰＬＣ信号イメージのマーカーを表記しています。

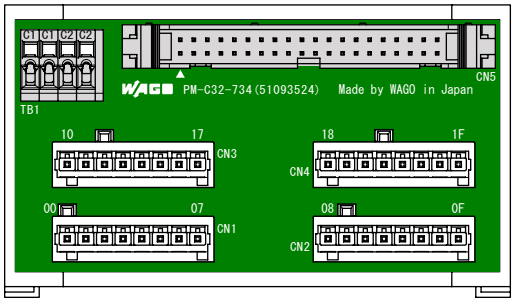
PM-A32-734　OMRON 入力用

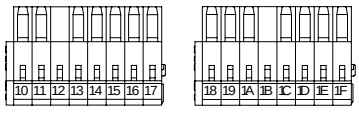




ＣＮ３　ＣＮ４

PM-C32-734　三菱電機入出力用





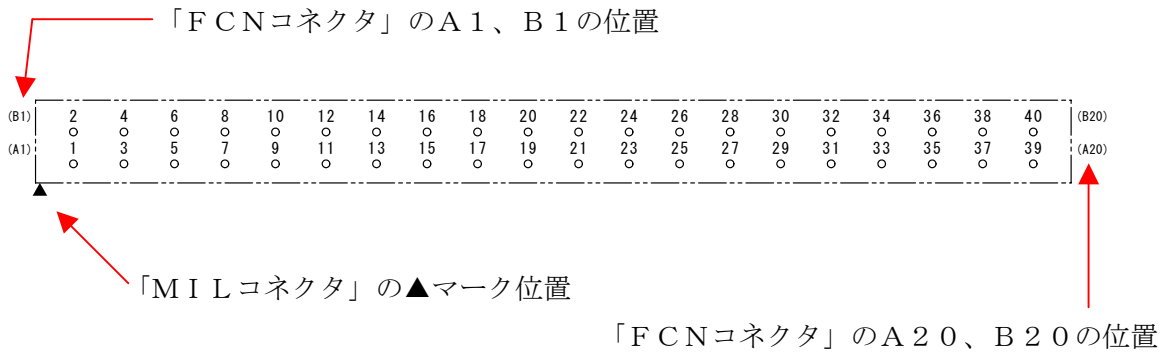
ＣＮ３　ＣＮ４

「PM-A32-734」「PM-B32-734」の２機種は 10 進数でマーキング、「PM-C32-734」は 16 進数でマーキングしています。
結線作業の際に間違が起こりにくいように、接続されるＰＬＣの信号イメージでマーキングしております。

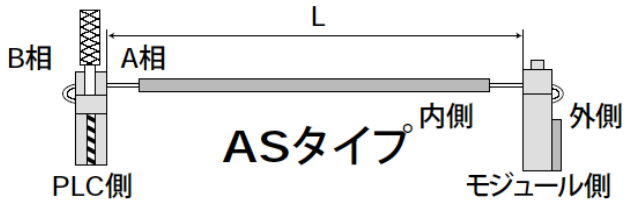
４．４．コネクタピン配列

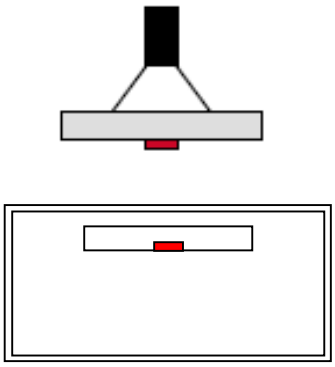
ＰＭ－７３４にはＰＬＣ接続用にOMRON社のＭＩＬコネクタ「ＸＧ４Ａ－４０３１」を実装しています。
なおＭＩＬコネクタの番号の付け方はメーカー毎に異なる場合があります。
回路のご確認や結線作業の際はＭＩＬコネクタの▲マーク位置や極性スロット向きをご確認下さい。
ＦＣＮ４０Ｐ（ＰＬＣ側）とＭＩＬ４０Ｐ（モジュール側）の接続ですから、ピン番号は以下のようになります。

ＰＭ－７３４　コネクタ部ピン番号



ＰＭ－７３４シリーズと各社ＰＬＣとの接続には、ＰＭシリーズのコネクタケーブルＡＳタイプがお奨めです。
＊PMコネクタケーブルASタイプ　：　FCN40P⇔MIL40P、MIL極性スロット外側、一対一ストレート



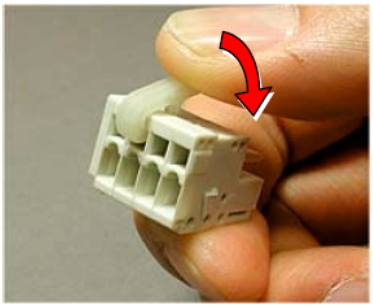


ＡＳタイプのコネクタケーブルは、横から見て
ＭＩＬコネクタの極性スロットが外側です。
ですから極性スロットが下向きに実装されている
ＰＭ－７３４シリーズに最適です。

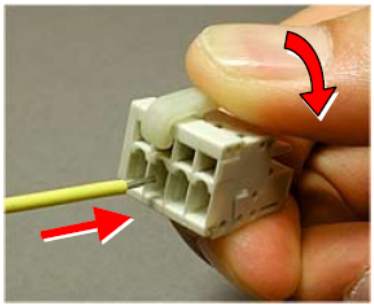
４．５．信号接続用７３４シリーズコネクタの電線接続方法

ＰＭ－７３４の信号接続を行なう７３４シリーズコネクタでは、前述のドライバ操作による電線接続方法以外に、指レバーでの電線接続が行えます。

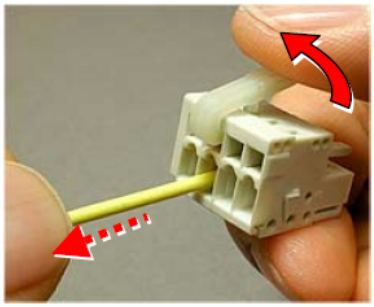
●指操作用レバーを使用する場合。（734 シリーズのみ）



①上部の操作用スロットに取り付けた指操作用レバーを指で押しスプリングを押し下げます。

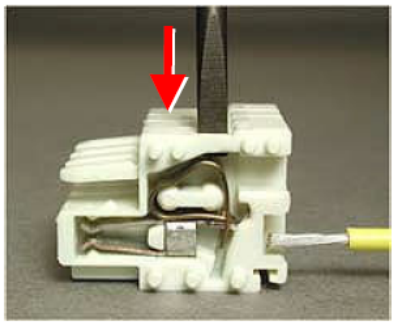


②操作レバーを押したまま、電線を挿入口から突き当たるまで差し込みます。

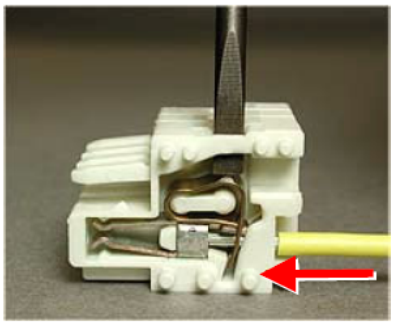


③操作レバーを放せば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張って下さい。
（強く引っ張らないで下さい。）

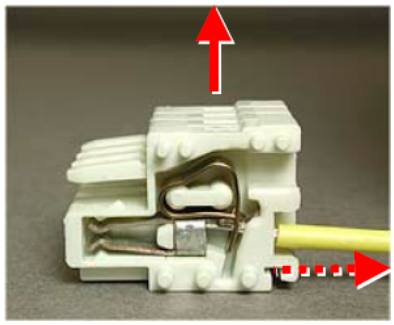
またコネクタを机の上に置きコネクタサイドからスプリングを直接押して電線接続を行なう事も可能です。この方法は専用工具でご紹介したドライバでなくてもコネクタサイドのスリットに入る刃先寸法のマイナスドライバ（市販の精密ドライバなど）でも電線接続する事が可能です。



①専用工具ドライバを上部の操作用スロットに入れ、スプリングを押し下げます。



②正しくむき出した電線を電線挿入口に突き当たるまで差し込みます。



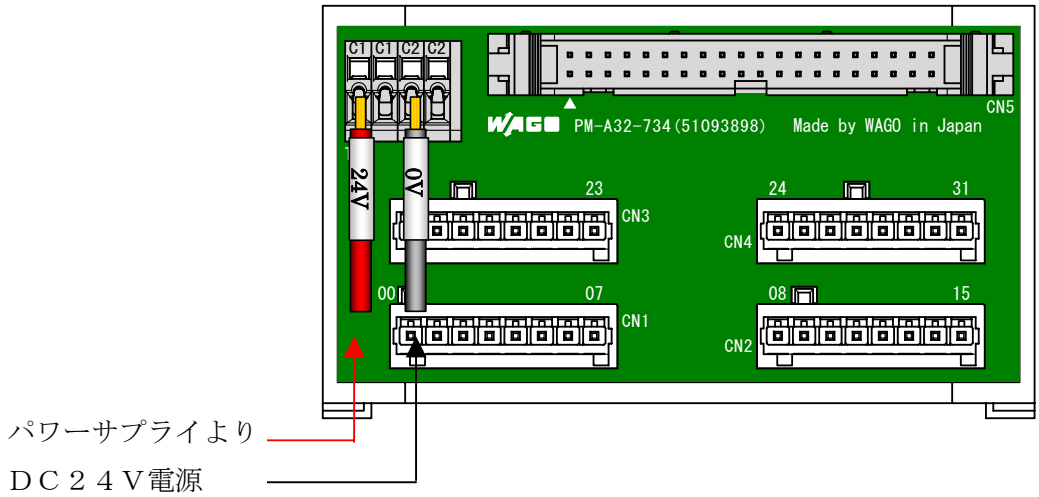
③ドライバを放せば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張って下さい。
（強く引っ張らないで下さい。）

ドライバにて電線接続される場合には、本資料の「**３．結 線 作 業**」をご参照下さい。

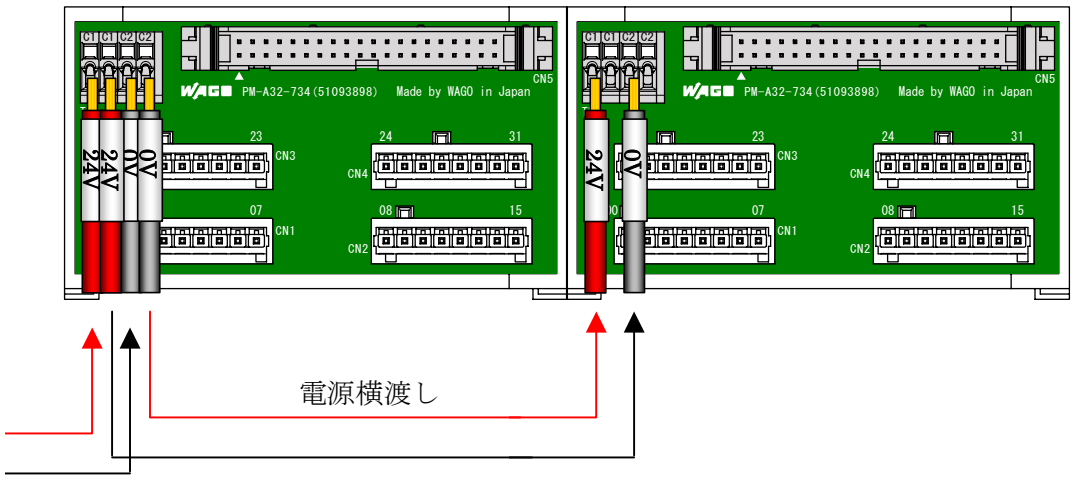
４．７．電源端子台と電源の横渡し

ＰＭ－７３４の左上に実装されているライトグレーの端子台「Ｃ１」「Ｃ２」は、適合ＰＬＣのコモンピンに接続されています。コモン端子台はそれぞれ２極の端子台ですので電源分岐が可能です。
パワーサプライ横の電源分岐用端子台が省略できます。

例：「Ｃ１」に「２４Ｖ」、「Ｃ２」に「０Ｖ」を接続する場合（詳しくは回路図をご参照下さい）



例：「PM-A32-734」から隣接の「PM-A32-734」への電源横渡し



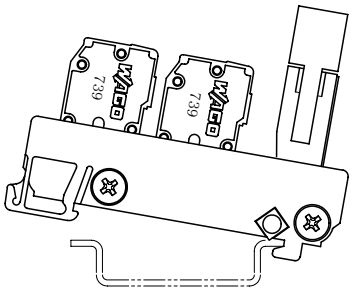
制御盤や装置内で省スペース電源分岐が可能な「コモン端子台モジュール　ＰＭ－ＰＷシリーズ」もあります。

５．ＤＩＮレールへの取付け方法

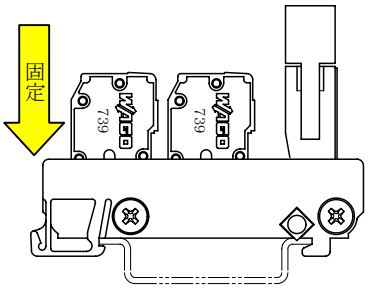
装着方法（イラストはＩＭシリーズ）

①ＤＩＮレールの上部にケースのフックを引っ掛けて位置を決めます。
　フックを引っ掛けただけの状態では簡単に左右に移動させる事が可能です。

②位置が決まりましたらケースの下部（端子台でも可）を押してＤＩＮレールに装着します。
　アルミ製ＤＩＮレールの場合、簡易金具がＤＩＮレールに噛み込みますので固定は完了です。
　アルミ製以外のレールやレールを垂直にして御使用される場合、絶対に固定位置から移動してはいけない場合などは、ＤＩＮレールストッパー（別売：249-116、249-117 等）を御使用下さい。



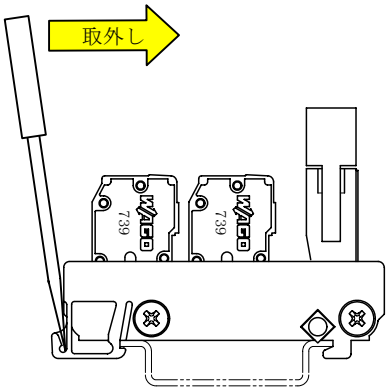
フックを引っ掛けた状態
左右に移動可能です



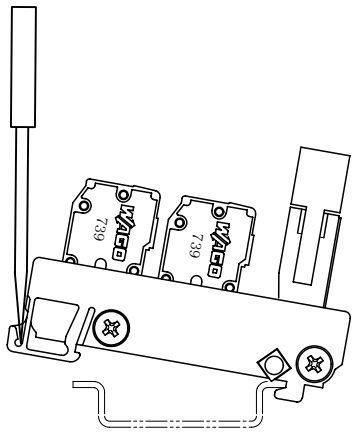
固定された状態
無理に移動させないで下さい

取外し方法

①マイナスドライバ工具をケース足に引っ掛けて、ロックを外す方向に少し力を入れます。
②さらにマイナスドライバをナナメにするとロックが外れますので、片手で抑えます。
③片手でケース部を押さえたまま反対側も同じ作業でロックを外すと、レールから取外せます。



マイナスドライバの位置
（無理に力を加えないで下さい）



左右とも同じ作業を行って
取外し完了

ご不明な内容等ありましたら下記の事業所にお問い合わせ下さい。

ワゴジャパン株式会社　　本　　社　東京都江東区亀戸 1-5-7 日鐵 ND タワー
Tel：03-5627-2050　Fax：03-5627-2055